

令和6年度 岐阜県子育て支援事業従事者等研修 開催予定

- ◆時 間：2時間（予定）
- ◆対 象：岐阜県内で子育て支援事業に従事する方
以下のいずれの内容でもご参加いただけますが、テーマによっては特定の施設（地域子育て支援拠点、保育園・こども園、児童館、等）に携わる方を想定した内容となりますので予めご了承ください。
- ◆費 用：無料
- ◆申込方法：各回の詳細と合わせてご案内いたします
- ◆お問合せ：NPO法人くすくす 電話 080-4546-9393、0584-82-5113
(火～金 10時～13時)

	内容	講師	場所	日時
①	<p>「困った子」は「困っている子」</p> <p>支援者や親が「ちょっと気になる」「接し方が難しいな」と感じる子の特徴とかかわり方を学ぶ。また、支援者が気を付けるべきポイントや、望ましくない対応などを、「困っているのは子ども自身である」という視点を大事にしながら学ぶ。</p>	<p>中野 たみ子 氏</p> <p>西濃圏域発達障がい支援センター 発達障がい地域支援マネジャー</p>	オンライン	<p>7/10 (水)</p> <p>10:00～ 12:00</p>
②	<p>家庭内で抱え込みがちな「しんどさ」を知る～女性と子どもを支える取り組みから</p> <p>精神的暴力や経済的暴力などは当事者自身も暴力だと気づいていないこともあるなど、DV等の家庭内の問題は外から見えにくい。子どもを巻き込んだ暴力も含め、家庭内で抱え込みがちな問題について、その現状を知るとともに、支援者がどのように家庭に関わっていくことができるのかを学ぶ。また、近年注目が集まる面会交流支援の取り組み等についても知る。</p>	<p>廣瀬 直美 氏</p> <p>NPO 法人あゆみ だした女性と子ども の会 理事長</p>	岐阜県庁 20階 会議室	<p>8/29 (木)</p> <p>13:30～ 15:30</p>
③	<p>「こどもまんなか」社会の実現に向けた支援とは～赤ちゃんも含めた乳幼児・こども・家庭の声を「まんなか」に据えて</p> <p>こども基本法が制定され、こども家庭庁を司令塔として、それぞれの地域のそれぞれの立場でこども・家庭を支えていくことが期待されている。一方で、「こどもや家庭の意見を“まんなか”に据えて…、と言われるが、赤ちゃんの声はどうやって?」「新たな制度が次から次に…支援者として何を優先すればいいの?」といった戸惑いも多い。新たな制度やしくみを整理し、支援者として大切にすべきポイントを学ぶ。</p>	<p>徳広 圭子 氏</p> <p>岐阜聖徳学園大 学短期大学部 教授</p>	岐阜県庁 3階 会議室	<p>9/9 (月)</p> <p>13:30～ 15:30</p>
④	<p>事実が伝わる記録の取り方【演習】</p> <p>誰が読んでも「事実」が伝わる記録の取り方、情報開示に対応できる文章の書き方や、記録として望ましくない表現、「リフレーミング」の手法等を学ぶ。</p>	<p>中條 美奈子 氏</p> <p>認定 NPO 法人 マミーズ・ネッ ト 理事長、 元教員</p>	岐阜県庁 20階 会議室	<p>9/19 (木)</p> <p>13:30～ 15:30</p>

	内容	講師	場所	日時
⑤	<p>父親支援を加速させよう！ ～親子の「はじめの100か月」を支えるために 子育て支援＝母親支援になっていませんか？父親の育休取得も増加傾向にあり、主体的に育児にかかわろうとする父親は増えている一方で、父親支援はまだまだ少なく、困ったり不安を感じても相談先が見つからなかったり、あっても「相談しづらい」現状がある。パパの産後うつも懸念される中、今すぐに取り組むべき父親支援のあり方を学ぶ。</p>	<p>坂本 純子 氏 NPO法人新座 子育てネットワ ーク 代表理事</p>	オンライン	10/21 (月) 13:30～ 15:30
⑥	<p>「こどもまんなか」社会の実現に向けた 保育現場におけるDX推進 園や保育士にとっての、人員不足解消や業務効率化のためのDX推進ではなく、こどもと子育て家庭をまんなかにおいた、よりよい保育を実現するためのDX推進とは何かを、具体事例とともに学ぶ。</p>	<p>大豆生田 啓友 氏 玉川大学 教育学部 教授</p>	オンライン	11/27 (水) 13:30～ 15:30
⑦	<p>児童館や学童保育で気になる子どもの「サイン」 ～気づいたらどうかかわる？ 支援者が「問題だな」と感じる子、ちょっと気になる子、手がかからないけど気にして欲しい子…など、子どもたちが出すSOSにはどのようなものがあるのか、それに気づいたとき、どのように声や目をかけていくのか？他の施設で「手に負えない」と言われた100人を超える子どもたちを養育してきた事例から学ぶ。</p>	<p>土井 高德 氏 一般社団法人 おかえり基金 理事長(土井ホーム代表)</p>	岐阜県庁 3階 会議室	12/6 (金) 10:00～ 12:00
⑧	<p>もっとコミュニケーションをとろう！ ～子どもと、保護者と、そして支援者同士も！【演習】 他者との交流機会が制限されたコロナ禍を経た今、子どもや保護者と積極的にコミュニケーションは取れてるだろうか？また、多機関連携が求められる中、支援者同士の出会いとつながりがますます大切になってくる。演習を交えて、子どもと、保護者と、そして支援者同士がコミュニケーションを深めていくヒントを学ぶ。</p>	<p>今村 光章 氏 岐阜大学 教育学部 教授</p>	岐阜県庁 20階 会議室	12/20 (金) 13:30～ 15:30
⑨	<p>生きづらさを抱えた子ども・家庭への支援の現状とこれから ～鼎談形式で「地域」をキーワードに考える 岐阜で30年以上にわたって不登校やひきこもりなどの生きづらさを抱えたこども・若者やその家族に関わってきた経験から、この地域の支援の現状や課題を探る。鼎談形式で、「地域」を切り口に、支援者がそれぞれの地域でできることなどを考える。</p>	<p>中川 健史 氏 NPO法人仕事 工房ポポロ 理事長</p>	岐阜県庁 20階 会議室	1/14 (火) 10:00～ 12:00
⑩	<p>支援者として知っておきたい、働く親を支えるしくみや制度 仕事と育児を両立しやすくするための環境づくりがどんどん進んでいる。母親だけでなく父親も取得が進む産休・育休制度、働き方の多様化、扶養の「壁」の撤廃に向けた動きなど、支援者として知っておきたい情報をわかりやすく整理し、学ぶ。</p>	<p>木村 麻理 氏 株式会社ママプロ 代表取締役、 社会保険労務士</p>	オンライン	1/20 (月) 13:30～ 15:30